

会 議 記 録

会議名称	平成 28 年度第 5 回 杉並区立図書館協議会
日 時	平成 29 年 2 月 18 日 (土) 午後 2 時 00 分～午後 3 時 40 分
場 所	中央図書館 地下 1 階 視聴覚ホール
出席者	委員 中島、多田、萩原、原田、有永、武者小路、平尾、折戸、秋永 区側 中央図書館長、中央図書館次長、管理係長、企画運営係長、 施設整備担当係長、資料相談係長、事業係長、管理係主査、 柿木図書館長、高円寺図書館長、西荻図書館長、永福図書館長、 宮前図書館長、成田図書館長、阿佐谷図書館長、高井戸図書館長、 方南図書館長、南荻窪図書館長、下井草図書館長、今川図書館長
配付資料	資料 1 各館別図書館サービス評価調査票－各館別評価の「改善すべき点」への対応状況と今後の取組の方向性 (対象：27 年度事業) 資料 2 中央図書館改修の基本的な方向性について (検討素案) 参考資料 1 中央図書館改修に係る区民等意見聴取の結果について 参考資料 2 中央図書館 現況配置図 ・「認知症を理解する－家族介護教室と映画会－」 ・第 12 回すぎなみ子ども・子育てメッセ「来て見て知って子育てのわ」 ・近藤富枝追悼展－Part II－～この一筋につながる～ ・第 13 回すぎなみ本の帯アイデア賞
会議次第	1 開会 2 中央図書館長あいさつ 3 議題 【報告事項】 (1) 平成 28 年度杉並区立図書館サービス評価の改善すべき点への対応状況等について (2) 中央図書館改修の基本的な方向性について (検討素案) (3) その他 4 閉会

○会長 では、定刻となりましたので、平成28年度第5回杉並区立図書館協議会を開催いたします。本日は、4名の委員が欠席されています。はじめに、席上配付されている資料について確認したいと思います。

○中央図書館次長 はい。まず1枚目が次第。その下に資料1、平成28年度杉並区立図書館サービス評価の改善すべき点への対応状況等について、資料2として「中央図書館改修の基本的な方向性について（検討素案）」、その下に「中央図書館改修に係る区民等意見聴取の結果について」、これが参考資料1です。その下に参考資料2「中央図書館現況配置図」です。その次が「認知症を理解する」、子ども・子育てメッセ、近藤富枝追悼展のチラシの3枚です。あとは第13回すぎなみ本の帯アイデア賞の冊子でございます。以上、お手元でございますでしょうか。

○会長 それでは、中央図書館の館長のご挨拶をお願いいたします。

○中央図書館長 委員の皆さん、こんにちは。中央図書館長でございます。本日はご多忙の中、協議会にご出席いただきまして、ありがとうございます。

さて、新しい年に入り早いもので2月も半ばを過ぎて、ちょうど梅の花も見ごろの時期となりました。加えて、今週は春一番となる強い風が吹くなど、本格的な春の訪れが待ち遠しい今日このごろでございます。杉並区におきましても、本月13日から議会の第1回定例会が始まりまして、来月半ばまで開かれます。特に第1回定例会は予算議会と言われておりますけれども、来年度予算の審議が行われているところでございます。

さて、本日の図書館協議会は28年度の第5回目ということになります。また、この協議会は平成27年6月から第17期として運営を重ねてまいりましたけれども、新年度の次回協議会の開催日程の関係で、今期の協議会としては、今日が最後の会議になるのかなと思っております。この間の皆様方のご尽力に改めて感謝を申し上げるとともに、せっかくでございますので、会議の終わりに会長のほうからも一言お言葉を賜ればと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

今日の議題としては、図書館評価と中央図書館の改修関係のご報告をさせていただく予定でございます。案件数は2件と少ないわけですが、いずれも今後の図書館にとってとても重要な議題ですので、ぜひ、皆様方から率直なご意見等をいただければと思っております。どうぞよろしくをお願いいたします。

○会長 ありがとうございます。

それでは、議題に入ります。本日は報告事項が2件予定されています。本日の図書館協

議会の開催時間は全体で1時間半程度を考えています。この後予定がある方もいらっしゃると思いますので、円滑に進行できるようにご協力をお願いいたします。

それで、(1)の報告事項で、平成28年度杉並区立図書館サービス評価の改善すべき点への対応状況等について説明していただきます。じゃあ、お願いします。

○中央図書館次長 はい。では私からご説明させていただきます。平成28年度杉並区立図書館サービス評価において、各館ごとに改善すべき点をご指摘いただいたところですが、それら指摘事項への対応状況等について、資料1に基づいて、私に続き各館長から簡単に順次ご説明、ご報告申し上げます。

1枚目の右肩に中央図書館と書いてある資料をごらんいただけますか。まず改善すべき点について、28年度の対応状況、今後の取組の方向性の順にご説明します。除籍と新規のバランスを考え蔵書を魅力的にすること、ということに対して、資料の除籍、廃棄及び保存に関する基準に基づいて除籍に取り組んでおります。今後は学びの場としての図書館の充実に向けて、資料管理委員会を中心に計画的な除籍に取り組みます。宅配サービスのさらなる検討を進めること、こちらについては他自治体の情報収集を行っております。今後は直近で事業を始めた都内図書館に聞き取りをする予定です。次、外国語資料を充実すること。こちらは、英語・中国語・韓国語以外の外国語資料を購入しました。今後は外国語で書かれた児童書の充実も図ります。レファレンス事例の共有化、区民向け周知の充実を図ること、こちらは図書館ホームページにレファレンス事例を毎月更新し、パスファインダーも追加しました。今後は引き続き充実に努める一方、外部データベースの紹介を行います。

行事やOPAC・ウェブ検索に係る利用者満足度調査の評価が地域図書館より低い結果を検証すること、これは行事を分析して日時・対象内容を再検討して、工夫して企画しました。OPAC・WEB検索については、要望は館内で情報共有して、システム保守業者へ調査依頼を行うなどして、信頼性・利便性の向上を図りました。今後は引き続き多様な行事を展開するとともにシステム保守業者に引き続き働きかけていきます。

中高生の来館者を増やす取組、YAコーナーを魅力あるものにするため検討することについては、中学生の職場体験でおすすめ本のポップを作成してもらったり、YAコーナー棚は常に面出しするよう心がけ、今後はYAおすすめ本の冊子を改訂し、区内中学校・高校に配布する予定。新たな取組について検討し、具体化を図ります。裏面に移りまして、ボランティアとの協働、養成や研修のみならず実施計画につなげること、ここは障害者ボ

ランティアと連携して、ステップアップ研修、あとブックスタートボランティアにも実践に役立つ絵本などの研修を実施。今後、障害者サービスとあかちゃんボランティアの新規育成をするよう調整中です。

中央図書館として職員研修・人材育成に力を入れること、ここは障害者差別解消法施行に伴う図書館の対応研修、レファレンス研修等を実施しました。また、外部の研修に参加して職員間で情報共有を図りました。今後は研修プログラムの改善を図り、周知を行います。以上のとおり、センター館として、図書館を支える人材の計画的な育成・確保に取り組んでまいります。広報効果の分析をすることについては、アンケート設問で効果の分析を行い、改善等につなげました。今後も、事業は約半数の方が広報を見て参加しているので、広報・PRに努めるとともに、アンケート等による分析を行います。委託業者との連絡体制や連携を密にすることについては、さまざまな機会を捉えて、引き続き指定管理や委託事業者との連絡調整・連携に努めます。以上です。

○永福図書館長 永福図書館長でございます。27年度改善すべき点について、28年度の対応状況を報告いたします。

館内展示、魅力的なコーナーづくりに関しては、郷土博物館において開催している企画展に合わせた関連資料のコーナーを設置いたしました。近隣施設と関連した資料展示を行うことにより、両館へ足を運んでいただければとの考えのもとに実施をしております。レファレンスに関しましては、全職員対象に研修を実施しまして、レファレンス能力の向上と記録の定着化を図っております。また、小・中学生の居場所としての図書館のあり方については、今後も継続して検討するとともに、まずは図書館に足を運んでもらえるよう行事などを実施をしております。これからも近隣施設などで広報依頼を通して各行事などを宣伝してまいりたいと考えております。以上です。

○柿木図書館長 柿木図書館長です。

改善すべき点の改善状況と今後の取組の方向性についてご説明させていただきます。

学びの場。資料収集については分担収集の自然科学、医学・薬学等について新刊情報やパンフレット等をもとに収集に努めました。今後は収集点数等を把握し、収集の参考にしていきます。

知の共同体。レファレンスについては利用者に積極的に声がけをし、対応しています。今後も挨拶や声がけを通して気軽に質問できる雰囲気づくりをしながら対応していきます。

楽しい交流区間。地域の小学校の1年生に図書館見学に来てもらい、図書館の利用につ

いてPRをしました。また、1・2年生に学期ごとにブックトークを実施し、読書の楽しみを伝えているところです。

目標実現のための基礎整備。情報発信については、広報紙「かきのき」の中で新刊情報等を提供し、読書活動の推進を図っているところです。以上です。

○高円寺図書館長 高円寺図書館長です。限られた時間ですので、最上段に記載のある学びの場について補足させていただきます。

27年度に着任してから館独自のアンケートを実施しております。本年度も11月に実施し、そのアンケート結果をもとに12月に展示も行っております。また、アンケートの報告書も作成しております。さらにアンケートの中で、どのような事業を行ったら、という希望の項目も設けまして、それに基づいて、今後、まちの歴史ですとか、大人向けの語りの会と、そういった事業も行う予定でございます。

今後ともこういったアンケートを実施しまして、限られた予算を効果的に使うため、利用者の生の声を聞き、それを事業あるいは資料収集に反映していきたいと思っております。よろしく願いいたします。

○宮前図書館長 宮前図書館長です。

学びの場については、中高生コーナーのさらなる充実としまして、YAコーナーを一部移動し、階段前の目立つ場所にYA掲示板や投書箱、オススメ本の紹介コーナーを設置しました。これは、3階に宮前図書館は広めの読書室がございますので、そこを使う中学生、高校生たちの通り道、動線にそれを置くことで、より注目してほしいという思いを込めまして、こちらに設置しました。今後の対応としましては、YAコーナーのほうに、既に2階のその別の場所にYAコーナーがあるんですが、こちらのほうの拡充も今進めているところであります。

次に楽しい交流空間のほうの、ボランティアとの連携を重視することに入っていますが、ボランティアさんとともに、高井戸子どもセンターとの協働事業を行っておりますので、そちらも来年度も引き続き行っていきたいと思っております。さらに、目標実現のための基盤整備の中にSNSの効果的な活用ということがありますが、宮前図書館ではツイッターでの配信を行っております。ただ、こちらではまだお知らせを配信するだけになっておりますが、さらに活用を推進するために、杉並以外でも使っている図書館を調査し、その状況を把握しながら今後の活用方策、方針について検討をしていきたいと思っております。以上です。

○成田図書館長 成田図書館長です。

改善すべき点、重点課題「中高齢者の生活支援」、課題解決ですが、こちらはコーナーを27年度末に設置したところ、その前にある書架も、椅子、サイドテーブル含めて、毎日利用がありまして、入り口横にあるため目につきやすく、定着につながっております。引き続き、中高齢の「中」の子育て世代にも利用しやすいように書架を移動するなどして、ライフスタイルに合わせた支援を行ってまいります。

2段目、イベントの参加状況も記載する。こちらでも参加希望多数でオーバーするものもあれば、なかなか集客に苦労するものもございますので、そういったことがわかるような報告書をつくっていきたいと思います。ボランティア発掘、こちらは一日図書館員というものを発掘すべく、そのポスターづくりを行っている最中です。他の、すぎなみボランティアセンターなどとも連携して行っています。チラシ用ラックのこの置き場、何か場所は幾らでもあるみたいなのを、コメントをいただいたんですが、実は苦労しております、見やすさをできるだけ改善していきたくております。広報・情報発信など、館内表示を、担当者を設けて、統一を図りながら行っております。有効な手段を話し合いながら、高齢者でも子供でも見やすいサインを意図してつくっております。以上です。

○西荻図書館長 西荻図書館長です。西荻図書館は、ご指摘いただきました改善点は評価調査票のほうには6点ございますが、このうち1点だけご説明させていただきたいと思えます。

学びの場についてのご指摘の2点目でございますが、施設や書棚の分類など、より一層利用しやすい工夫をすることがございまして、これにつきまして改善するに当たり、他館を見学させていただきました。書架の見出しづくりの参考とさせていただいたものでございます。女性が主に利用しております590から599の、洋裁とか編み物、料理、育児などのコーナーでございますが、利用者からもわかりにくいとの声がありまして、分類番号のほかに内容に合わせたイラストを入れた大型の見出しを作成しました。これにより、分類番号だけでなくイラストでも探している分野がわかるようになり、利用しやすくなったのではないかと感じております。今後は全体的に不足しております大型本の見出しの作成に取りかかり、徐々に利用しやすい書架にしていきたいと考えております。以上です。

○阿佐谷図書館長 阿佐谷図書館長です。

学びの場で指摘されました児童書については、蔵書整理をP D C Aに乗せまして、リサイクル本を郷土博物館分館へ150冊、小学校、保育園等へ約500冊提供し、除籍後の行き先

も考慮しました。書架からあふれる状況はなくなっております。

楽しい交流空間で指摘されました図書館モニターですが、運営の下支えになっておりますボランティアや読書活動団体の方々から、他館での活動事例を含め日々アドバイスをいただいております。満足度調査でいただいた自由意見も、ある意味モニターの役割を果たしており、できることから改善をしているのが実情です。

最後に、広報につきましては、ターゲットを絞ってじかにご案内することを徹底しまして、集客に苦勞することはほとんどなくなりました。また今年度よりフェイスブックを活用していますが、認知度が低いのが現状です。SNSの活用は未利用者の開拓にもつながると思いますので、他館の好事例を共有していただきながら、今後も検討を進めていきたいと思っております。以上です。

○南荻窪図書館長 南荻窪図書館長でございます。よろしくお願いいたします。では、私のほうから、主な3点についてご説明させていただきます。

まず、学びの場の改善すべき点の重点課題の講演会・学習会などの企画を検討、実施することの項目につきましては、以前より1階環境コーナーに資料展示及びパンフレット等の情報提供を行ってまいりました。28年度からは、さらに環境に関心を持ってもらえるよう、2階に新たに生物多様性の本棚を新設いたしました。今後の取組の方向性としましては、環境に関する資料の展示は、今後もより一層の発展を視野に、継続して取り組んでまいります。また、環境に関する講演会につきましては、実施に向けて企画立案・講師依頼を行っていきたいと考えております。

次に、知の共同体では、今年度、図書館業務の根幹であるレファレンス業務のレベルを上げるため、研修を計画しております。なお、当館は利用者数他館に比べ少なく、レファレンス業務の依頼も少ない状況であるため、館内広報等が必要だと考えております。今後、レファレンス業務に関しましては特に力を入れて研修を行い、スタッフ全員が同等程度の業務ができる体制を整えていきたいと考えております。また、利用者へのレファレンス業務の館内広報を積極的に行っていく考えでおります。

最後に、楽しい交流空間の、利用者層に見合った内容の本をとという項目なんですけれども、28年度は、YA層に興味を持ってもらうため、工夫を凝らした展示や配架を行ってまいりました。また、対象に見合った本の購入希望図書リストを選書担当者に提示も行ってまいります。今後はYA層に見合った本を揃えていくため、区内外の効果的なイベント・選書傾向等の情報集約について研鑽し、実施に努めてまいります。残りの項目につきまして

は記載のとおりでございます。以上です。

○下井草図書館長 下井草図書館長です。どうぞよろしくお願いいたします。

最初に学びの場のコンピューター関連資料の基準の明確でございますが、これにつきましては、20年以上前に出版された物は保存庫へ移動し、保存庫にはソフトのバージョンごと2冊ずつ保管することといたしました。新規購入は、除籍と共に最新の資料を調査し、そろえるようにいたします。

知の共同体としてでございますが、レファレンス件数の利用者数の減につきましては、カウンターや館内にレファレンスサービスのご案内という案内ポスターを表示しまして、レファレンスを広く周知するようにいたしました。また、書架で迷っている利用者には積極的に声をかけるようにいたしております。データベース研修の実施なんです、今年度は障害者サービス研修、パスファインダー研修を実施いたしましたので、来年度に実施することにいたしました。

楽しい交流空間の定例行事のマンネリ化に対する対応でございますが、お話し会では参加型の本を選んだり、手遊びの種類を増やしたり、記念品のしおりをプレゼントしたりして、マンネリ化を防いでおります。今後も道具を購入するなど、マンネリ化を防ぎたいと考えております。館内表示ですが、計画的な更新ということで、新規の作成を含め、表示の更新を月1回以上行っております。

最後に目標実現のための基盤整備の研修の計画的実施と職員間の内容の共有ということでございますけれども、月1回あります全体ミーティングを活用いたしまして、研修内容のスタッフ間の共有や計画的な実施を行っていきたくと考えております。以上です。

○高井戸図書館長 高井戸図書館長です。よろしくよろしくお願いいたします。

改善すべき点を受けての対応状況を説明いたします。YA資料の充実についてです。高井戸中学校の図書委員の生徒と交流する機会を設けまして、生の声を聞き、選書に生かしました。今後の取組の方向性としましては、高井戸中学校以外の学校とも学校司書さんや図書委員と連携を進めて、ニーズの把握に努めたいと思っております。

続けまして、レファレンスサービスの周知についてです。レファレンスカウンターを設置いたしましたところ、レファレンスの件数が今のところ伸びております。今後の方向性としましては、周知を進めるとともに質の向上に努め、研修を継続的にやりたいと考えております。

高井戸中学校以外の保幼小中との連携を進めるということで、新たに上高井戸児童館へ

の出張おはなし会を始めるなど、近隣の施設にも連携を呼びかけております。今後も近隣の施設にチラシを配るなど、連携を深められるように進めていきたいと考えております。以上です。

○方南図書館長 方南図書館長でございます。よろしくお願いいたします。

学びの場としては、定例の学校司書連絡会での情報交換を軸に、蔵書構成に関する情報、小中学生の生の声を吸い上げ、事業計画に反映させてまいります。また、開館10年を経過し、劣化してきた館内のサインの入れ替えに関しては、一般・児童共に統一性を持った立体的なサインを設置し、こちらに関しては問い合わせをいただいた各館の管理もサインのデータ等の情報を提供して、共有しております。

知の共同体といたしましては、夏期間の図書館ガイドを初め、まずは声をかけやすい雰囲気づくりを。またレファレンスの研修を重ねて、全員で取り組む態勢を整えております。少し前後いたしますが、この目標実現のための基盤整備について、全員に課題を出し、一定時間をかけて、それぞれ回答を提出、中心となる担当者により精査してフィードバックを行う研修を定期的に行い、間接的に調べ学習の楽しさを伝えてまいります。また、複合施設である保育園との連携も、合同避難訓練と年4回の出前保育を継続して実施、業務に支障がない範囲で両施設の特性を生かし、活用できる事業を企画・提案してまいります。よろしくお願いいたします。

○今川図書館長 今川図書館長です。私から、今川図書館の対応状況等につきまして、一部ご説明をさせていただきます。

最初に、学びの場の、資料の保存庫における配置見直しについての具体的な実施方法ですが、各書架担当が日々の書架整理の中できつくなって利用しにくい書架を洗い出し、それを持ち寄って1枚の書庫入れ表を作成、優先順位を決めて保存庫への移動を行います。その際、保存庫内にスペースを確保するため、保存庫内の図書の除籍や配置替えを行っております。今後も魅力的で利用しやすい書架づくりのために保存庫を有効に活用してまいります。

次に、知の共同体の児童向け事業実績の減についてですが、27年度は児童向け映画会が行えなかったこと、参加人数を把握しない事業があったことなどが原因と考えています。そこで、28年度は一部の事業で実施回数をふやすとともに、全ての事業で参加人数を把握するよう工夫し、その結果、児童の事業参加は、1月末時点で昨年実績を上回っております。今後も多くの子供が参加し、読書につながるような事業を実施してまいります。

最後に、目標実現のための基盤整備の複合施設としての検証ですが、今年12月に開設10周年となりますので、これまでの10年を振り返るとともに、日ごろの事業や連携を通して、施設管理や事業運営の面でのメリット、デメリットなどを洗い出し、今後、複合施設としての地域図書館のあり方の検証につなげてまいりたいと考えております。以上です。
○会長 どうもありがとうございました。

何かご質問、ご意見がありますでしょうか。

○委員 質問なんですけども、私は文庫サークル連絡会から来ているんですけど、先日久ちの定例会のほうに、杉並の女性団体の方がご相談ということでした。ゆう杉並の中にある男女平等推進センター内に図書資料のコーナーが設けられ、そこには女性に関する資料がかなりの数あるらしいんです。それらの資料が活かされていないので、何とかして区民の方に知っていただきたいし、そのコーナーももっと見やすく、利用しやすいようにできないものかということをお話しされていました。

ゆう杉並や、社会教育の施設という点では同じ図書館・郷土博物館などに資料が分散されていると思うんです。杉並区の中で、例えば図書館にないけれど、郷土博物館や男女平等推進センター資料室にあるものをつなぐということは相当難しいことだとは思いますが、そうした資料を広く区民に知らせることはできないのでしょうか。

おそらく電算化はされていないと思うんですが、区民の方に知ってもらって利用していただく方法はないのだろうかということ、定例会のほうにいらしておっしゃったので、本のことだから図書館に相談されるのも一つの手ではないかと言いました。

その団体について私は詳しく知らないので何とも申し上げられませんが、活動している拠点に資料があるからこそ活かされるのだろうという気持ちもすごくあるので、何か活用できる方法はないものかぜひお聞きしたいと思います。

永福図書館のほうでも郷土博物館の展示と相まって郷土博物館への紹介をしたということもありましたから、例えば今、中央図書館で近藤富枝さんの展示をされていますが、近藤さん以外にも杉並で活躍された女性の方はたくさんいらっしゃると思うので、そうした展示でゆう杉並の男女平等推進センターにある本も何かの形で区民に知らせる方法はないものかと思いました。

また、あんさんぶる荻窪のミーティングスペースにも、以前は資料がかなりあったんですが、図書館の本とは全然別だとは思いますが、私たち一区民として見れば、本は本。図書館、郷土博物館、あんさんぶる荻窪と別々にありますが、区民が利用できる資料には変

わりはないのではないかなと思いました。

○中央図書館次長 区の資料であれば、情報共有のために、ここにはこういう本があるんですよというリストをいただいて、例えばうちの図書館に置くとか、そういったことだったら、連携としてはできなくはないとは考えております。

○中央図書館長 せっかくのご質問ですので、私のほうから補足をさせていただきます。

図書館などの生涯学習部門だけではなく、区のさまざまなサービス分野の部署で、図書資料などの様々な文化的な資源があると思います。先ほどご紹介いただいたゆう杉並には男女平等推進センターが併設されていますが、その図書コーナーを含めて、いろいろあると思います。区立図書館では、区民の皆さんの利便性を高めるため、高井戸地域区民センターの図書室と連携してサービスをご利用いただいておりますが、それ以外の部署で保有する図書資料までネットワークでつなぐというのは、技術的にもコスト的にも困難な課題が多いと思っています。

ただ、そういった図書資料を多くの区民の皆さんに知っていただき、ご利用いただく機会を増やしていくというのはとても重要なことだと思います。男女平等推進センター自体やや交通の便が悪いところに立地しているということもあり、なかなか所蔵している資料を利用いただけていない現状から、女性団体がそういうご相談をされたのだと思います。次長が申し上げたとおり、図書館では企画展示などを積極的に行っていますから、例えば男女平等推進センターを所管している部署と連携して、展示の際に関連資料の存在に光を当てるやり方もあるのではないかと思いますので、関係所管のほうと調整して実現の可能性を探らせていただければと思っております。どうもありがとうございました。

○委員 お願いします。中央図書館には杉並資料室がありますが、そこにはない資料が郷土博物館にあるのではと思っていて、改修の時期に博物館資料もできれば本当にピックアップして、データベース化して置いておいていただきたいと思います。

○中央図書館長 一応、ご意見として今後の参考にさせていただきます。

○委員 すみません。

○中央図書館長 男女平等推進センターで所蔵している図書は、一般で市販されている関連書籍が多いので、図書館の所蔵資料と重複しているものは多いと思います。ただ、それ以外の報告書や調査資料などの中には未所蔵のものもあるかもしれません。何よりもそういう図書コーナーの存在に光を当てる意味でも、いろいろと連携して展示等の機会を通じて発信していくことはできると思います。そうした連携により相乗効果が高まることで、

相互の施設をご利用いただけるようになると思いますので、少し検討させていただければと思います。

○委員 お願いします。

○会長 杉並区内には意外と、特殊コレクションみたいなもので、余り知られていないけど知られば有用なものがまだほかにもあるかもしれないので、機会があったら図書館ホームページにそういう特殊コレクション案内みたいなものをコーナーとして載せると、それがきっかけになって利用されるかもしれないので、検討していただけたらと思います。

ほかにご意見、ご質問ありますでしょうか。

○委員 宅配サービスのことですけれど、3年ほど前に高井戸図書館のほうで最初に宅配サービスの計画らしきものが出て、足並みをそろえないといけないということで、高井戸で計画された宅配サービスの話が流れた経緯があったと思います。私は最初に宅配サービスというのを聞いた時、よいサービスではないかなと思ったんですけど、よく聞いてみたら、例えば自転車で高井戸地域を配達しているときに事故にあった場合はどうするかとかを細かく決めていかないと事業の実施にはつながらないと言われたと思うんです。この宅配サービスは中央図書館が掲げていますが、ほかの地域館でもそういうサービスを展開されるのでしょうか。

○中央図書館次長 宅配サービスについては、委員が話されたように検討しなくてはならない事項が何点かございます。今現在、郵送のサービスは行っているんですが、返す時はポストに入れにいかなくちゃいけないということがあり、利用者の利便性を考えると、宅配サービスは、いずれは導入していきたいとは思っているんですけども、お聞きしている中でも、利用者がボランティアに届けてもらうのに、女性じゃないと嫌、男性じゃないと嫌だということもあったりとか、先程の事故があった時どうするかとか、そういうことを一つひとつ詰めていかねばならないと考えております。近隣で中野区さんが導入されているので、そういう状況を聞き取って、検討事項をきちんと確認しながら、不安材料を潰していってという形になると思います。現在検討中でございますが、他館での可能性も含めて検討してまいりたいと考えてございます。

○会長 ほかにご質問はおありでしょうか。

○委員 すみません。質問ではないんですけども、言葉での評価みたいなことを私がさせていただいて、先ほど各図書館からの報告を聞いて、PDCAサイクルが回り出しているなというのがすごくよく伝わってきました。皆さんからここは言いたいというポイント

を伝えてくれたので、それも聞いて、その次を見据えたプランがちゃんと回っているという
うことを感じられ、報告を聞いてとてもよかったです。ありがとうございました。

○中央図書館長 どうもありがとうございます。今年度の図書館評価の実施に当たって、
前回までは結果の取りまとめが年度末ぎりぎりになり、各館での次年度の事業計画等の作
成時期と齟齬があつて、評価に基づく P D C A サイクルが徹底し切れていないという課題
がありました。それで今年度は、委員の皆様大変ご苦勞をおかけしましたけれども、評
価の取りまとめの時期を12月へと前倒しして、次年度の事業計画等に反映できるように取
り組みました。

協議会からの評価の中にある改善すべき点も貴重なご意見として受け止め、P D C A サ
イクルに乗せて各館のパフォーマンスを上げていくようにしていかなければなりませんの
で、今回こういう形で整理して、対応策を委員の皆様にはしっかりとご説明させていただく
ことで、全体としてサービスの改善、充実につなげていければと思っております。まだま
だ改善すべき部分はございますけれども、今のご発言をしっかりと胸に刻んで次年度に向け
て取り組めればと思っております。

○委員 今日の報告を聞いて、やってよかったと素直に思えました、ありがとうございました。

○会長 では、ほかにご意見、ご質問はおありでしょうか。

(なし)

○会長 ほかにないようでしたら、この件に関して事務局から何か連絡事項がおありでし
ょうか。

○企画運営係長 では、私、企画運営係長でございます。改善すべき点への対応というこ
とで、今もお話がありました次年度への計画ということの反映についてお話をさせていた
だければと思います。

まず、今回、各館の館長からご報告いたしました図書館協議会の委員さんから、意見、
提言をいただきましたものへの対応ということで、先ほど森館長からお話がありました今
年度の評価が終了いたします。この評価の終了に伴って、また来年度の各館の自己評価、
それから事業計画に反映をさせまして、また平成29年度につきましては平成28年度の事業
を対象といたしまして評価をしていくというような、P D C A サイクルの流れにのっと
ったサービス評価をさせていただきたいと思っております。また、図書館協議会のほうでは、
7月ぐらいには、その自己評価、事業計画等、報告をさせていただきまして、また委員の

皆様に評価をしていただくというような流れになるかと思えます。

この1年間を通じまして、評価につきましては、それぞれの委員の皆様には視察や、またサービス評価票の記載など大変なご尽力をいただきまして、ありがとうございました。また、この運営状況報告書については、区のホームページ、図書館のホームページにそれぞれ掲載してございますので、そちらのほうもごらんいただければと思います。図書館ホームページのほうは「図書館からのお知らせ」というページのトップページ、一番トップのお知らせに出てございますので、そちらを開いていただきますと概要版と、それから今回の報告書が掲載されてございます。また、区のホームページにつきましては、トップページの「区政情報」という中の「教育」という中で、「図書館」を開いていただきますと、「経営評価報告書」という項目がございますので、そちらのほうに掲載をさせていただいております。ということで、紙の報告書につきましてはまた後ほどお渡しさせていただければと思っております。そういったことで、1年かけまして、こちらのサービス評価のほう、大変ありがとうございました。

私のほうからは以上になります。

○会長 よろしいでしょうか。何かご意見などありますでしょうか。

(なし)

○会長 それでは、次に報告事項(2)の中央図書館改修の基本的な方向性について、説明させていただきます。

○中央図書館次長 はい。中央図書館改修の基本的な方向性の検討素案についてご説明いたします。参考資料1をごらんいただきたいと思います。今年度は中央図書館改修について幅広い区民の方から意見をいただくため、ワークショップ形式の区民意見交換会を初めとして、多様な参加手法で取組を進めて、先日その結果の概要につきましてはご報告させていただいたところです。本日は寄せられた区民意見の聴取結果を踏まえつつ、今後の改修検討に向けた基本的な方向性を検討素案として取りまとめましたので、ご報告させていただきます。

参考資料1に沿ってご説明いたします。中央図書館改修に係る区民等意見聴取の結果についてということで、先にお配りした資料とほぼ同様の資料でございますが、一番下の3のところ、今後の取組スケジュール、ここが追加となっておりますのでご説明いたします。平成29年2月から7月にかけて、図書館協議会委員の皆様からご意見をいただき、9月には改修基本計画を策定し、30年度に設計と、31から32年度にかけて改修工事を行うというス

ケジュールでございます。その後ろの参考資料2でございますが、中央図書館の現況配置図を参考につけてございます。

次に、資料2をごらんいただけますか。上に「未定稿」と記載してございます。中央図書館改修の基本的な方向性についての検討素案です。中央図書館の大規模改修において、杉並区立図書館サービス基本方針が掲げる図書館像の具現化を図るため、以下の基本的な方向性に沿って計画の具体化に努めますということで、改修の基本コンセプトとして、「誰もが気軽に利用できる、安全で快適な図書館をめざす」、「杉並区立図書館サービス基本方針に掲げる図書館像の具現化をめざす」、「時代のニーズを反映した図書館の成長・進化に対応できる、柔軟性のある建築をめざす」、次に改修の基本的な方向性として、以下の8点を掲げております。

①番が老朽化設備の更新と改良。これは各種設備やエレベーターについては全面交換で、建屋については全面補修、クリーニング。ガラス面については、書籍の紫外線等への影響を抑止できるような改良をします。

②番の震災等への備えの強化は、大規模な震災の教訓をもとに、新たな耐震対策を施します。あわせて採用可能な省エネ対策を適切に講じていきます。

裏面に移りまして③番、主要ゾーンの拡充です。一般図書、児童図書及び新聞・雑誌に係る主要ゾーンについて、エリア構成・ゾーニング・動線計画の見直しを行うことを基本に拡充します。参考図書室・杉並資料ゾーンについても再構築を図ります。

④番、調べものゾーン・交流区間の新設。調べものゾーン・交流区間を設け、学びと楽しい交流の場として整備します。

⑤番、ヤングアダルト（YA）ゾーンの拡充。ヤングアダルト層向けの配架と閲覧スペースを確保し、中学生・高校生向けのサービスの充実を図ります。

⑥番、カフェゾーンの再構築。誰もが快適に図書館を利用でき、明るく楽しく人が集う空間で、個人の学びの成果を仲間や他の利用者と共有する場として利用できる滞在型施設とするため、アクセスを改善し、書籍の閲覧も可能な場所として再構築を図ります。

⑦番、屋外スペースの有効活用。西北面の敷地についてなんですけれども、周辺の緑のオープンスペースを生かすため、整備します。

⑧番、図書館サービスの情報化の推進で、スマートフォン、タブレット端末などで、無線を介して、時と場所を選ばず情報に接することができるよう、ICT環境を整備拡充します。また、ICTを活用したより利便性の高い図書館サービスについても検討し、具体

化をめざします。ということで、もう一枚別紙をつけてございます。こちらはイメージ図
というか、改修後のめざす図書館像がわかりやすいようにおつけいたしました。

私からのご説明は以上です。

○会長 何かご質問おありでしょうか。

○委員 区民等からの意見聴取の実施概要に、さまざまな調査をしたという結果が載って
いますが、肝心の中央図書館を利用している方の声が必要なのではないかと思います。
例えば、登録団体やヘビーユーザーと言われている方がいらっしゃると思うんです。単な
る改修ではなく大改修をするということなので、実際に中央図書館に来て利用している方
の声を聞いていただきたいなと思います。

○中央図書館次長 はい。この1,400名余りの中には、中央図書館をご利用いただいでい
る方も当然含まれています。例えば中央図書館の中でのアンケートにつきましても、
1,400名余りの方からご意見をいただいておりますので、今のところ検討していない状況
でございます。

○委員 これで大改修に関する実施概要についての意見の聴取はもう済んだということな
んですか。

○中央図書館次長 既に1,400名余りの方から、ご意見をお聴きしていますので。

○委員 「1,400名余りも」という言い方は、五十何万人の区民の中で千四百何人の意見
を聞いたから、もう中央図書館の大改修に関する意見聴取は終わりというのはいかがとい
うふうに思います。先ほど申し上げたように、私は、中央図書館に登録している一団体で
ある、文庫サークル連絡会というところから来ています。平成26年度に中央図書館大改修
という話が出てから、最初は、図書館を利用団体と図書館の方との間で改修に関する意見
交換会というか、利用者との意見調整はなかったと思います。この3年間いろいろな事情
があつて、利用者に対するところまでの意見交換などの機会がなかったのかなと思います
ので、未定稿ではありますが、これだけ立派な方向性についての資料ができたんです
から、実際に利用している人たちからも、意見などを聞いてほしいと思います。

○中央図書館次長 今後の取組スケジュールで、2月から7月にかけて図書館協議会の皆様
にご意見を伺いながら、またこの検討素案をブラッシュアップしていきたいと考えてござ
います。

○委員 協議会で、正直なところ活発な意見が出ればいいんですが、もう少し利用してい
る人からの意見というものをに入れていただきたいと思います。また、この大改修に対して

いささかなりとも関心を持っている区民が、こういう図書館になってほしいという意見も出しているかと思います。この方向性というものが立派な内容だけに、これがこの先どうなっていくのかというのは気になりますので、これを本当に具現化していくときに、1,400名の意見を聞いたからもう区民の意見を反映しましたではなくて、もう少し図書館を利用している人の意見も聞いていただきたいというのが本音のところですよ。

○委員 1,100名となっているこのアンケートはどのような形で対象を選んだのですか。

○中央図書館次長 区民意向調査については、18歳以上の区民1,400名を無作為抽出し、郵送でお願いし、その中から1,100名弱の方にご回答いただいています。

○委員 わかりました。多分アンケートとなると、ある程度一般的な質問、誰でも答えられるような一般的な質問になって、余り細かな質問はできないと思います。今ご指摘の、利用者がどう希望しているかということを知っていくためには、ワークショップ形式というんですか、多分それが一番適切な方法だと思います。実際にはどのくらい利用している方が集まったのかはわかりませんが、それである程度カバーできますし、1,100名で少ないということはないと思います。一般的に調査するとき、1,000人を超えるものは大変大規模な調査ですので、数が少ないということはありません。それから利用者の声を聞くのであれば、アンケートではなくて、ここではワークショップと言っていますが、具体的な話をいろいろ聞いていけば十分だと思いますので、特に利用者に限って何かやり直す必要はないと思います。

○委員 この区民意見交換会、ワークショップ方式というのは、前々回の冊子にあったと思うんですが、50名を集めてのワークショップで、私は全部の回を傍聴したんですけど、意見を交換するというワークショップではなく、中央図書館をこういうようにしてほしいということをお話し合って、最終目標としてどういうゾーニングをしたらいかがかについて実際に紙に書いてもらう形のワークショップでした。

○委員 図書館に何かそういう用紙を置いて、来た人に答えてもらうということをやったとしても、多分それほど効果的な——効果的というか、いい答えが出てくるかどうかかわかりませんので、基本的には対話形式でやればいかなと思うんです。

○委員 意見交換会という形ででしょうか。

○委員 はい、意見交換会でもいいと思います。

○中央図書館次長 まさにその区民意見交換会が、参考資料1の主に3番のところは今仰っているワークショップのことです。

○委員 数をたくさん集めるという必要は多分ないと思うんです。

○委員 中島委員はやはり区民ですし、図書館をすごく使っているから、すごく熱い思いがあると思うんですね。今、次長がおっしゃられたように、協議会の中で来年度はというお話があったときに中島委員からちょっと懸念が示されたように、私も区民ではありませんし、区内で勤めてはいても区民ではないので、やはり温度差も出てくると思うんです。実際に使っている方の声を聞くという意味では、今後のスケジュールもあると思うので、余り聞いてばかりいても收拾がつかなくなります。一旦これで進めていく中で、また設計者と中央図書館と利用者の三者で話し合うような機会を設けていかれたらよろしいのではないのでしょうか。

ここで終わりというように少し聞こえてしまったところが、多分不安を持たれたんだと思います。今後、この改修を進めていく中で、話し合いをしていけるときがあると思うんですよ。図面は引かれていきますけれども、全部フィックスする前に機会を設けて、要所で話し合うような段取りをとっていただく。設計者であればそういうところはわかると思いますので、設計者と図書館員の方も一緒になって、どういう図書館を自分たちはつくっていったら、区民の利用者が一今の利用者がより喜び、誰もが気軽にということは今は使っていない利用者も呼び込もうという考えもあるんだと思いますので、そういうまだ使っていない利用者の方をどうやって引き込んでいくかというのを、皆さんで楽しみながら話し合っていくのがよろしいかと思います。

○中央図書館長 よろしいですか。先ほどの説明が言葉足らずだったような気がして、少し補足をさせていただきます。私どもは1,400人の声があったから、それで意見を伺う機会はもう打ち切り、あとは猪突猛進でゴールに向かって進むといった考えはございません。

ただ今回は、公共施設の新築ではなく改修について、区民、利用者、未利用者など広く参加者を募ってワークショップ形式の区民意見交換会も開催しながら、丁寧にご意見をお聞きするような取組は、余り例がないのではないかと思います。

議会から区民の声をもっと反映させるような取組をというご意見を踏まえて、28年度はいろいろな参加手法を駆使しながら幅広い区民の皆さんからご意見をいただいて、一定の結果をまとめさせていただきました。今後の目標として、今年の秋には改修基本計画をつくるという大きな仕事が控えていまして、寄せられたご意見を計画づくりの中にできるだけ活かしていくという視点に立って、いろいろ角度から精査させていただきながら検討を進めることが、当面は優先すべきことかなと考えています。とはいえ、基本計画自体は改

修の大まかな青写真を取りまとめるもので、設計段階のように詳細な内容を詰めたものではないという点をご理解いただきたいと思います。

したがって、改修基本計画を取りまとめた後も、それを広く区民の皆さんに公表しながら設計を進めていくこととなりますので、その過程の中で、また区民、利用者の方の声をお聞きするような形がとれるのか、そのあたりは引き続き考えていきたいと思っています。なお、図書館をご利用いただいている方々とのチャンネルということで言えば、中央図書館を含めて各館で利用者満足度調査を毎年実施していますので、ハード面を含めて、いろいろなご要望をお聞きすることはできると思いますので、今後もそこは丁寧に進めていければと考えています。3人の委員の方から貴重なご意見、ご指摘をいただきましたが、今後はそういう姿勢で取り組んでまいりますのでご理解いただければと思います。

○委員 すみません。言葉足らずだったかもしれませんので少し補足します。杉並区民が何十万人かいて千幾つというのはすごく少ないとおっしゃいますけども、数を増やせばいいというものではないのです。一般に聞くと多分普通の質問しかできないのですが、実際に利用していなければ細かいことはわからないです。ですから、これはこれで十分だと思うんですけども、実際にこの図書館をよく利用されているヘビーユーザーの方に、例えばどういうところが不便だとかを聞くことは必要だと思うんです。しかし、こういう調査、アンケートをもっと大規模でやる必要はないというように考えています。むしろ細かなところを聞くのであれば、数を集めなくてもいいですけども、実際に利用している方に、公式でなくてもいろいろ意見を聞いていくことは必要かと思っております。

○委員 いろんな意見を聞くというのは確かに大事なことですけれども、私はこの間のワークショップを傍聴させていただいたんですけども、やはりプロがこれから設計するわけですから、そのプロのたたき台があって、それを見ながらまた意見を交換するという場がないと、50人位の素人が参加して夢を語って青写真をつくるというワークショップをやっても、あまり意味がないのではないかという気がしました。

○中央図書館長 今年度の区民等からの意見聴取結果は参考資料1に整理させていただいていますが、例えば区民意向調査は区を挙げて年度1回行うもので、設問項目もさまざまな分野で各所管が整理して盛り込むこととなりますので、例えば中央図書館の改修を含め図書館整備に関する質問項目数も限られてきます。一方、区政モニターアンケートは200名のモニターの方々を対象に、一つのテーマごとに年間を通じて何回か実施されますが、今回、図書館の施設・サービスをテーマに実施したモニターアンケートではかなりの質問

項目を用意して、自由記入のご意見を含めて、図書館についてのまとまった数の回答が寄せられました。1,400人が多い少ないという議論よりも、私どもは今回の一連の取組を通じて寄せられたご意見は非常に有意義なものが多く、また、何よりも区立図書館サービス基本方針で目指している方向性に沿った具体的なご意見が非常に多かったと受け止めています。今回の取組により、区が目指す図書館像を実現するために改修事業に取り組む必要があるということを改めて確認できたことも、大きな収穫だったと思っています。

○委員 すみません。この改修のことは、利用者の皆さんにはもう周知されていて、今度ここを建てかわるんだよねという感じの雰囲気なのでしょうか。

○中央図書館長 どの程度周知されているかについてはお答えしにくいのですが、この間、図書館ホームページはもとより、さまざまな広報媒体を使って区民、利用者の方にお知らせしてきましたし、意見聴取の結果についても随時フィードバックをさせていただくなど、周知活動には努めています。実際にどこまで届いているかという広報効果という点は別に、私どもとしてはきめ細かくやってきているつもりですし、今後もそういう姿勢で取り組みたいと思っています。

○委員 私は中央図書館が改修されるということはオープンな情報だと思っていたので、区内の、例えば私は高井戸ですけど、久我山とかにお住まいの方に話すと、誰も知らないんです。こんな大きなプロジェクトを知らないことに少し驚き、寂しくも感じました。もともと荻窪に大きな図書館があることも知らない人が多いので、そういう方が足を運ぶような、すてきな場所ができるんだということを伝えたいし、そういう人がこぞって来るような場所になったらいいなと思いました。

○中央図書館長 中央図書館の改修プロジェクトに限らず、区政の情報をいかに効果的に多くの区民に届けるかというのは、まさに広報戦略として区政の大きな課題です。私はさまざまな行政分野を経験してきましたけれども、今回の事案に限らず、議会で熱心に議論されている区の施策や事業であっても、区民一人ひとりにお聞きするとご存じないというケースは少なくないと感じることが多かったので、この改修プロジェクトについては、今のご指摘もしっかり踏まえて、発信についてはさらに工夫していきたいと思っております。

○委員 施設というのは結局は箱だと思うんです。その箱がどんなものになるかというのも大事なんですけども、そこを使って生かしてくれる、通ってくれる人がいないと、箱は生かせないわけで、その生かしてくれる方々の意見ももう少し聞いてほしいということをおっしゃったんだと私は感じました。非公式でも意見を聞くような場が課題なのかなと思

うんです。立派な図書館ができることを私も一区民としてとても楽しみにしていますが、やはり私の周りの人も知らない方が多いんです。私は学校の図書ボランティアもやっていますので中央図書館に来たりはしますが、ここに来たことがないという人も大勢いますので、少し遠いけど一緒に行こうよとか、楽しいところだよと言って皆さんと来れるような、すてきな図書館を私も熱望し、改修を楽しみにしております。

私の意見というよりも、気持ちを言っただけなんですけど、話を聞いていて、多分理詰めではかれないところを言ってくれたのだと思いました。少し話が平行線になっている感じがしましたので申し上げました。

○委員 ありがとうございます。今、施設という言葉を使って言っただけでしたが、施設の中身のほうが本当に大事だということはよく感じます。永福図書館など地域館が改築されていく予定にもなっていますので、中央図書館以外のほかの図書館の情報についても協議会に伝えていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

○中央図書館長 今回の参考資料のところにも注記しているんですけども、今年度取り組んだ区民等意見聴取の取組のうち、ワークショップ形式で行ったものは、主に中央図書館の大規模改修をテーマにご意見をいただきましたが、それ以外の区民意向調査やモニターアンケート調査などでは、今後の地域図書館の改築も含めて図書館全体の施設やサービスのあり方についてお聞きしたという経過がございます。今後は、永福図書館をはじめ老朽化した地域図書館の改築も大きな課題になってまいりますので、今回はそうしたことも視野に入れて区民の皆さんからご意見を伺えるよう取り組んだ次第です。

永福図書館の改築は、現在の永福体育館が旧永福南小へ移転した後、その跡地へ移転・改築し、複合施設として整備する計画ですが、今後の進捗状況に応じて、図書館協議会のほうにも情報提供を適時させていただき、ご意見等をお聞きしてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いします。

○委員 すみません。資料2の一番下のところに「採用可能な省エネ対策を適切に講じていきます」という一文があるのですが、どのような対策を考えているのかお聞きします。

○施設整備担当係長 では、施設担当のほうからお話をさせていただきます。省エネの部分につきましては、まだ概略としてはまとまっているものではございません。ただ、実際にやっていく場合に、省エネの部分といいますのは、イニシャルコストとランニングコストが必ずしもバランスがとれていないものもございますので、そちらも必ず分析をして、なおかつ今回はあくまでも大規模改修という部分がございますので、その改修の予算の範

囲で適切に行えるものやっけていきたいというふうに考えているものでございます。

○委員 例えば、小学校の屋根には太陽光パネルを設ける動きも広がっていますが、そういうのも一つなのですか。

○施設整備担当係長 今回の改修において、屋上にパネルを載せるのは耐震の問題等々もございまして、難しいかとは思っているところです。

○委員 建て替えの場合には、そうした対応はあるかもしれないということですか。

○施設整備担当係長 建て替えの場合には考慮されると思います。ただ、実際には建物の高さや近隣である遮蔽物等々の問題もありますので、状況はケース・バイ・ケースになってくるかとは思っています。

○会長 先ほど、図書館協議会で意見聴取した場合に、必ずしも意見がそんな出るとは予想できないという、言い方はちょっと違うかもしれませんが、話でしたけれども、確かにこの改修の基本的な方向性で挙がっているようなことに関して、余り意見が出るわけじゃない。カフェゾーンとかそういうのも、うまくつくられて、意外と、ちょっと休憩するとか、そういうのに使えるゾーンができるということはすごくいいと思うんですけど、意見を言うという場合には、先ほど委員のほうからあったように、配置図がある程度決まってイメージが出てくると、ここは動線としてよくないとかという具体的な意見は出るような気がします。設計のところで決めたものが示されてしまうと、意見を出しにくくなることが多い気がするんですけど、できればたたき台のようなものが複数提示されて、最終的に設計のほうで調整していただくようなプロセスがとれると、利用者から意見も言いやすい気がします。協議会での意見聴取という場合には、そこまでは行かない段階での意見を求めるということになるのですか。

○中央図書館長 先ほども私から申し上げたとおり、他の自治体の公共施設でもそうなんですけど、改修の基本計画レベルでは、図面も添付されない場合もよくあります。基本計画という形で概括的な内容を取りまとめて、それをもとに設計作業が進められることが一般的だと思います。今後検討を進めていく基本計画には必ず図面が添付されるということではない点をご承知おきいただきたいと思います。その上で、今日は「基本的な方向性」という、割とコンセプト的な言葉だけで整理していますので、これ自体にいろいろと意見をいうのは難しいかもしれません。図面によってエリアとかゾーニング、動線とかが見えるようになると、ご意見も活発に出されてくるのかなと考えています。今日は改修の基本的な方向性をご説明しましたが、次回の協議会ではもう少し具体的なものをお示して、

議論がしやすくなるような機会にしたいと思っています。

○会長 そのほか、ご質問、ご意見はおありでしょうか。

報告事項については以上でよろしいでしょうか。

(了承)

○会長 それでは、事務局からほかに何か連絡事項がありましたらお願いします。

○中央図書館次長 それでは私のほうから、次期の杉並区立図書館の協議会、区民公募委員の公募についてご説明させていただきます。前回も多少ご説明させていただきましたが、広報等を通じて募集を行い、今月12日に締め切りました。今後は小論文による選考、面接を行った後、3名の方を委嘱する予定です。協議会の委員は幅広い区民の区政への参加の促進とか、多様な声を図書館行政に反映していくという観点から、選考に当たっては、世代構成のバランスなどにも配慮しながら行ってまいりたいと存じます。また、第17期となる今期の協議会も任期2年の満了を迎えるということとなりますので、改選となるその他の委員の皆様についても推薦母体に依頼して委嘱を進めてまいりたいと思います。

なお、杉並区の附属機関などでは、委員等は原則として連続3任期を超えて在任しないものとするという運営上の基準を設けてございますので、該当する委員には今期をもって交代をお願いすることとなりますので、ご了承をお願い申し上げます。私からは以上です。

○会長 そのほか、何かありますか。

○中央図書館次長 席上に配付しております「認知症を理解する」、「すぎなみ子ども・子育てメッセ」、「近藤富枝追悼展－Part II－」のチラシですけれども、委員の皆様をはじめとして、お知り合いの方にもお声かけいただくと大変助かります。また、第13回本の帯アイデア賞受賞作品集もお配りしております。後ほどごらんください。

また、先ほど申し上げたとおり、第17期となるこの図書館協議会ですが、平成27年6月から2年任期でご協力いただいてまいりましたけれど、新年度の次回協議会日程の関係で、今期の協議会は本日の会議をもって最後となります。ありがとうございます。公募委員以外にも改選になる委員の方もいらっしゃいますので、会長様から、どうぞ一言ご挨拶をいただきたいと存じます。よろしく願いいたします。

○会長 座って失礼します。2年前に協議会に参加することになり、それで会長の役を務めさせていただくことになりました。議事運営に関しては経験があまりなく、うまく進められない場面も多くあって、ご不満を抱かれた方もいらっしゃると思いますし、反省点も多いのですが、皆様のご援助とご協力を得て、任期中の今日までどうにか会議を

運営することができました。本当にありがとうございました。

また、協議会の一番大きな仕事が評価に関する事柄で、前の16期の委員の方々の評価方法がかなりしっかりしているもので、そこからどういうふうを受け継ぐかというのがなかなか難しく、そういった面でも足りない点もあったと思うんですけど、皆様のご協力で、初年度、それからまた2年目は図書館の見学も取り入れて、少しずつでも評価の方法が整っていったような気がします。まだ足りない面があるかもしれませんが、お忙しい中大変な作業をしていただいて、本当にありがとうございました。2年間とりあえず一応無事に運営できたことは、皆様のご協力のおかげだと思っています。それから、今期で任期を終えられる委員の方もいらっしゃると思いますが、本当にご苦労さまでした。また、ほかの面で引き続きご協力いただけたらと考えています。

○中央図書館次長 ありがとうございました。

○会長 そのほか事務局から連絡事項等がなければ、次回は第18期となる新生の図書館協議会のスタートになることになりましたが、最後に、次回の日程についての調整をお願いします。

○中央図書館次長 次回の日程ですが、6月10日土曜日を予定したいと思うんですが、皆様のご都合はいかがでしょうか。本日ご欠席の委員様もおられますが、6月10日予定ということでご連絡を差し上げますので、またメール等でお返事をいただくと助かります。よろしくをお願いします。

○会長 それでは、予定した時間を少し過ぎてしまいましたけど、これで平成28年度第5回、そして第17期の最後となる図書館協議会を終了いたします。ご協力ありがとうございました。

○中央図書館長 どうもありがとうございました。